

☆市民活動をFMラジオで発信☆

『つなげよう！市民のチカラ！』

○第46回：2019年2月24日（日）

○ゲスト：弘前医療福祉大学救急救命研究会

齋藤 駿佑 さん

後藤 力玖 さん

小山 景衣 さん



齋藤さん

後藤さん

小山さん

○放送内容

今回の放送では、弘前医療福祉大学救急救命研究会で活動されている齋藤駿佑さん、後藤力玖さん、小山景衣さんをゲストにお招きしました。

救急救命研究会の普段の活動内容や、とくに力を入れて行っている心肺蘇生法・応急手当普及啓発活動のことなどをお話しいただきました。

◆ 救急救命士を目指す学生だからこそできること！

救急救命研究会は、救急救命学科の普段の講義や演習に加え、「もっと知識を深めたい！技術も上達させたい！」、そんな熱い想いをもち、さらなる知識と技術の向上を目指す学生が集まり設立されたサークル団体だそうです。主に地域の防災訓練への参加や、マラソン救護支援活動、心肺蘇生法・応急手当普及啓発活動など、「自分たちだからこそできること」に力を入れて活動しているとのことでした。

◆ 活動を通して自分自身もレベルアップ！

このように様々な地域貢献活動を行っている救急救命研究会ですが、その中でも今年度とくに力を入れて行ったことは心肺蘇生法・応急手当普及啓発活動とのことです。この活動では、昨年度は介護福祉分野で勤務する方々を対象に、今年度は市内教育機関に勤務する養護教諭の方々を対象に救命講習会を開催したそうです。

後藤さんはこの活動を通して、教える側の難しさを実感したそうで、「心臓マッサージなどでも、自分たちの中では感覚としてできていることをかみ砕いて説明するのは難しい。」とお話ししていました。小山さんも「教える立場なので自分の知識もつけないといけないし、どうやったら分かりやすく教えることができるかを考えるので、とても勉強になった。」とのことで、「教える側の立場」としてもたくさんのこと学ぶことができたようです。

そして、齋藤さんは「活動の計画から開催日の運営まですべて自分たちで行うので、途中で難しい問題があったり、間違えることもありますけど、それをいかにカバーして最後までやり遂げるかということでも非常にやりがいがある活動だと思う。」と力強くお話ししていました。